

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立真田山幼稚園 学校協議会

令和8年3月6日(金)第3回学校協議会を行い、協議委員から以下の評価を受けた。

1 総括についての評価

本年の幼稚園の自己評価結果について、運営に関する計画の取組内容の保護者アンケートの結果が、全ての項目で中期目標及び年度目標を大きく上回った。ほとんどの保護者が、「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答をしていることから、保護者が、園の教育内容を理解し、園の取組に対する満足度が高いことが分かる。「運営に関する計画」に基づいた教育内容を工夫し、園全体で、見直しと改善を省みて取り組んできたことによるものだと考える。よって、中期目標及び年度目標達成に向けた取り組みの進捗状況および達成状況は妥当である。

2 年度目標ごとの評価

中期目標及び年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の保護者アンケートで「安心して自分の思いを表出し、相手の思いにも気付けるようになった」の項目で肯定的意見が85%以上になるようにする。(年度末95%)
- 令和7年度の保護者アンケートで「いろいろなことに自信をもって取り組むようになった」の項目で肯定的意見が85%以上になるようにする。(年度末97%)
- 教職員が連携し、子ども一人一人の実態や発達段階に応じた指導や支援の工夫をされている。幼稚園での育ちが小学校以降につながっていくよう、一人一人の実態に合った保育内容を今後も工夫していきたい。
- 子どもの姿から、相手の気持ちを考えられるようになってきていると感じる。CAPのプログラムの受講や日々の取組から、自分も相手も大切にするような指導を行っている成果であると考ええる。
- 安心・安全な教育の推進を進められておりよいと思う。いろいろな子どもがいる中、互いに良さに気付いたり、互いを理解し合ったりできるように保育を工夫されている。子ども同士の関わりの中で支え合い、育ちあう学級づくりをしていくことが大切である。

中期目標及び年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の保護者アンケートで「友達と思いを伝え合いながら、主体的に活動し、考えたり工夫したりしながら遊べるようになった」の項目で肯定的意見が80%以上になるようにする。(年度末99%)
- 令和7年度の保護者アンケートで「自分の体を大切にし、楽しんで体を動かして遊ぶようになった」の項目で肯定的意見が85%以上になるようにする。(年度末100%)
- 地域や近隣の学校園との交流が充実しており、自信や憧れの気持ちをもつ姿につながっている。進学への期待が高まり、安心して進学する姿につながると思われる。
- 子どもの実態を踏まえながら、教職員が連携して保育内容を工夫されていることがよく分かった。安心できる幼稚園であると思う。

中期目標及び年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- 進んで研修や研究に取り組み、保育を学び合う教師集団を育成していく。
- 令和7年度の保護者アンケートで「家庭や地域へ教育内容を分かりやすく伝えている」の項目で肯定的意見が80%以上になるようにする。(96%)
- ホームページやパワーポイント、ドキュメンテーションなど、様々な方法で子どもの育ちを分かりやすく伝えられている。時代に応じた発信の仕方を工夫されていることで教育内容が分かりやすく、保護者の安心感につながっている。
- ホームページの更新が週1回以上されており、日々の取組が分かりやすい。教育内容の発信に、大変効果的である。

3 今後の学校園の運営についての意見

- 地域や小学校との交流を充実していくことで、子どもが、心豊かに成長し、保護者も安心して通わせられるように、取組を進めていかれたい。
- 今後も、一人一人に応じた保育を進められるよう、教師自身の学びを深め、子ども同士の育ち合いを大切にされた教育を進めていかれたい。
- 幼稚園の良さをさらに外部に発信してけるようにすることが大切であるとする。